

明石市総合交通計画の改定状況について

1 計画の趣旨

「明石市総合交通計画」については、2022年度が計画最終年度であり、昨今のコロナ禍により交通を取り巻く環境が大きく変化していることや、「あかしSDGs推進計画（明石市第6次長期総合計画）」が昨年度策定されたことを踏まえ、誰もが安全で安心して移動できる持続可能な交通体系の確立を目指し、改定作業を進めています。

2 改定の状況

(1) 明石市総合交通計画検討会の開催

改定には、学識経験者や高齢者、障害者などの市民代表、交通事業者などで構成する「明石市総合交通計画検討会」を開催し、様々な意見を頂きながら検討を行っています。

	開催日	議事概要
第1回	令和4年4月7日(木)	現状と課題、基本理念と目標 など
第2回	令和4年6月28日(火)	交通ネットワークの考え方、基本戦略、施策体系 など
第3回	令和4年9月5日(月)	事業プログラム、コミュニティバスについて など

(2) 検討中の計画の概要

①基本理念・目標

基本理念	みんなで持続可能でやさしい交通体系を守り・育てる ～「人と人」「人と地域」「地域と地域」をつなげる公共交通～
目 標	(1)公共交通利用者数：【R2】8,410万人/年→【R14】1億人/年 (2)公共交通利用圏：【R4】91.8% →【R14】90%以上を維持 (3)コミュニティバスの収支率：【R3】36.4% →【R14】50%

②交通ネットワークの考え方

地域核である鉄道駅を中心に、各交通手段の役割分担を踏まえ、東西の移動は鉄道、南北の移動はバス交通が担い、公共交通利用圏をカバーする交通ネットワークを形成します。また、広域なネットワークも考慮し、交流促進によりまちの活性化につなげます。

③基本戦略・主要プロジェクト

基本戦略	(1)公共交通を中心とした交通体系の構築 (2)誰もが快適に移動できる交通環境づくり (3)持続可能な社会に向けた安心・安全で環境にやさしい取り組みの実施 (4)明石のまちを活性化する交通体系 (5)公共交通をみんなで守り・育てる意識の醸成と実践
主要プロジェクト	(1)みんなで守り・育てる持続可能な交通体系の確立（公共交通の利用促進など） (2)ユニバーサルデザインの推進（ホームドア設置など） (3)駅を中心とした地域拠点の形成との連携（西明石駅南開発など） (4)快適な道路ネットワークの構築（山手環状線整備など） (5)交通安全対策の充実（踏切対策など）

3 今後のスケジュール

令和4年9月：「計画素案」の作成

10月：パブリックコメントおよび市民説明会の開催

令和5年1月：検討会にて「計画案」を報告

3月：建設企業常任委員会にて「計画案」を報告、計画改定